

[世界を変えた書物]展

2018年9月8日(土) → 24日(月・休) 会期中無休 入場無料

午前10時～午後5時(入場は閉場の30分前まで)

上野の森美術館

主催 K.I.T. 金沢工業大学 上野の森美術館

「知の壁」(1F)

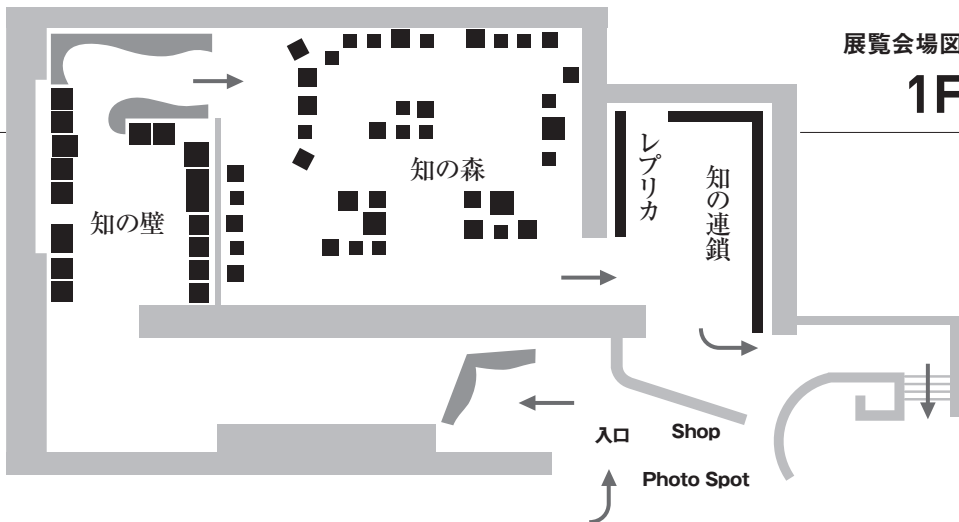
THE WALL OF WISDOM

旅のはじまりは、圧倒的な「書物の壁」との出会いからはじまります。
まずは、建築関連のその美しい書物をゆっくりお楽しみください。

【書物に関する凡例】

著者(生没年), b=born(生誕), c.=circa(約), d=died(死去),
fl.= floruit(不明)

「書名」, 刊行地, 刊行年, となっています。



観覧会場図

1F

建築書

0001

ウィトルウィウス (fl.25 B.C.)

「建築十書」, ヴェネツィア, 1511年, 初版.

Vitruvius. (fl.25 B.C.)

M. Vitruvius per locundum solito castigatior factus, cum figuris et tabula, ut iam legi et intelligi possit. Venezia, 1511. First edition.

0002

ウィトルウィウス (fl.25 B.C.)

「ラテン語より俗語に翻訳された十巻の建築書」,
コモ, 1521年, 初版.

Vitruvius. (fl.25 B.C.)

De architectura libri dece,... Como, 1521. First edition.

0003

ウィトルウィウス (fl.25 B.C.)

「ラテン語より俗語に翻訳された十巻の建築書」,
コモ, 1521年, 初版.

Vitruvius. (fl.25 B.C.)

De architectura libri dece,... Como, 1521. First edition.

0004

アルブレヒト・デューラー (1471-1528)

「人体比例論四書」, ニュールンベルク, 1528年, 初版.

Dürer, Albrecht. (1471-1528)

Hierin sind begriffen vier Bücher von menschlicher Proportion durch Albrechten Dürer von Nürenberg erfunden und beschriben, zu nutz allen denen, so zu diser kunst lieb tragen. Nürenberg, 1528. First edition.

0005

セバスチアーノ・セルリオ (1475-1554)

「セルリオの建築第三書」, ヴェネツィア, 1540年, 初版.

Serlio, Sebastiano. (1475-1554)

Il terzo libro di Sebastiano Serlio Bolognese,... Venetia, 1540. First edition.

0006

ウィトルウィウス (fl.25 B.C.)

「建築十書」(ドイツ語版), ニュールンベルク, 1548年, 初版.

Vitruvius. (fl.25 B.C.)

Vitruvius Teutsch. Nemlichen des aller Namhaftigsten und hocherfarnesten,... Nürnberg, 1548. First German edition.

0007

ウィトルウィウス (fl.25 B.C.)

「建築十書」(バルバロ/バラディオ版),
ヴェネツィア, 1556年, 初版.

Vitruvius. (fl.25 B.C.)

I dieci libri dell'architettura di M. Vitruvvio; tradutti et commentati da monsignor Barbaro. Venezia, 1556. First edition.

0008

ジャコモ・パロツィ・ダ・ヴィニョーラ (1507-1573)

「建築の五種のオーダーの規則」, ローマ, 1562年, 初版.

Giacomo Barozzi da Vignola. (1507-1573)

Regola delli cinque ordini d'architettura,... Rome, 1562. First edition.

0009

フリリベール・ドルム (c.1515-1570)

「建築第一の書」, パリ, 1567年, 初版.

Delorme, Philibert. (c.1515-1570)

Le premier tome de l'architecture. Paris, 1567. First edition.

0010

アンドレア・バラディオ (1508-1580)

「建築四書」, ヴェネツィア, 1570年, 初版.

Palladio, Andrea. (1508-1580)

I quattro libri dell' architettura. Venezia, 1570. First edition.

0011

ジャック・アンドルーエ・デュ・セルソー (c.1549-c.1584)

「フランスの最も優れた建築、第一巻、第二巻」,
パリ, 1576-1579年, 初版.

Androuet du Cerceau, Jacques. (c.1549-c.1584)

Le premier [-second] volume des plus excellents bastiments de France,... 2 vols in 1. Paris, 1576-1579. First edition.

0012

ヴィンチェンツォ・スカモツィ (1548-1616)

「普遍的建築の概念」, ヴェネツィア, 1615年, 初版.

Scamozzi, Vincenzo. (1548-1616)

Dell'idea dell'architettura universale di Vincenzo Scamozzi. Venezia, 1615. First edition.

0013

クロード・ペロー (1613-1688)

「柱の五種のオーダーについて」, パリ, 1683年, 初版.

Perrault, Claude. (1613-1688)

Ordonnance des cinq espèces de colonnes selon la méthode des anciens,... Paris, 1683. First edition.

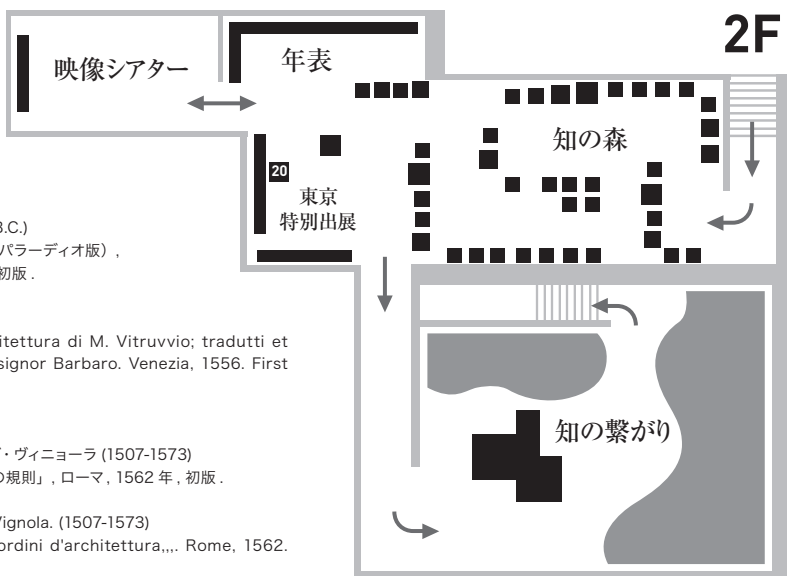
0014

カルロ・フォンタナ (1634-1714)

「ヴァチカン寺院とその起源について」, ローマ, 1684年, 初版.

Fontana, Carlo. (1634-1714)

Il tempio Vaticano e sua origine- Con gl'edititii, piu cospicui antichi, a moderni fatti dentro, e fuori di esso. Roma, 1684. First edition.



2F

0015

パウル・デッカー (1677-1713)
「王侯の建築家、あるいは民生建築」,
アウグスブルグ, 1711-1716年, 初版.

Decker, Paul. (1677-1713)

Fürstlicher Baumeister oder: Architectura civilis,... 3 vols.
Augsburg, 1711-1716. First edition.

0016

アンドレア・パラディオ (1508-1580)
「パラディオの建築四書」(レオーニ版),
ロンドン, 1715年, 初版.

Palladio, Andrea. (1508-1580)

The architecture of A.Palladio; in four books,... London,
1715. First edition.

0017

ヨーハン・ベルンハルト・フィッシャー・フォン・エルラッハ (1656-1723)
「歴史的建築」, ウィーン, 1721年, 初版.

Fischer von Erlach, Johann Bernhard. (1656-1723)

Entwurf einer historischen Architektur. Vienna, 1721. First
edition.

0018

ウィリアム・ケント (1684-1748)
「イニゴ・ジョーンズのデザイン」, ロンドン, 1727年, 初版.

Kent, William. (1684-1748)

The Designs of Inigo Jones, consisting of plans and
elevations for public and private buldings. 2 vols. in 1.
London, 1727. First edition.

0019

ジェームス・ギブス (1682-1754)
「建築書、建築と装飾の設計」, ロンドン, 1728年, 初版.

Gibbs, James. (1682-1754)

A book of architecture, containing designs of building and
ornaments. London, 1728. First edition.

0020

ジョヴァンニ・バッティスタ・ピラネージ (1720-1778)
「古代ローマの廃墟及び建造物景観」, ローマ, 1748年, 初版.

Piranesi, Giovanni Battista. (1720-1778)

Antichità Romane de,tempi, della republica e de primi
imperatori,... Roma, 1748. First edition.

0021

ウィリアム・チェンバース (1723-1796)
「民生建築論」, ロンドン, 1759年, 初版.

Chambers, Sir William. (1723-1796)

A treatise on civil architecture,... London, 1759. First
edition.

0022

ジェームズ・スチュアート (1713-1788), ニコラス・レヴェット
(1720-1804)
「古代アテネ」, ロンドン, 1762-1830年, 初版.

Stuart, James. (1713-1788), Revett, Nicholas. (1720-1804)

The antiquities of Athens. London, 1762-1830. First
edition.

0023

ビエール・パット (1723-1814)
「ルイ十五世栄光顕彰記念碑及び記念広場計画案集」,
パリ, 1765年, 初版.

Patte, Pierre. (1723-1814)

Monuments érigés en France à la gloire de Louis XV,
précédés,... Paris, 1765. First edition.

0024

ステファン・リオウ (1720-1780)
「古代アテネから説明され叙述された建築のギリシア・オーダー」,
ロンドン, 1768年, 初版.

Riou, Stephen. (1720-1780)

The Grecian orders of architecture: delineated and
explained from the antiquities of Athens. London, 1768.
First edition.

0025

オッタヴィオ・ベルトツツイ=スカモツツイ (1719-1790)
「パラディオ作品集」, ヴィチエンツァ, 1776年, 初版.

Bertotti-Scamozzi, Ottavio. (1719-1790)

Le fabbriche e l disegni di Andrea Palladio. Vicenza, 1776.
First edition.

0026

クロード=ニコラ・ルドゥー (1736-1806)
「芸術、風俗、法制との関係の下に考察された建築、第一巻」,
パリ, 1804年, 初版.

Ledoux, Claude-Nicolas. (1736-1806)

L'architecture considérée sous le rapport de l'art, des
moeurs et de la législation, Paris, 1804. First edition.

0027

エクトール・ギマール (1867-1942)
「カステル ベランジエ」, パリ, 1898年, 初版.

Guimard, Hector. (1867-1942)

Le Castel Béranger: oeuvre de Hector Guimard. Paris,
1898. First edition.

0028

ヨーゼフ・マリア・オルブリッヒ (1867-1908)
「オルブリッヒの建築」, ベルリン, 1904年, 第二版.

Olbrich, Joseph Maria. (1867-1908)

Architektur von Olbrich. Berlin, 1904. Second edition.

0029 ※

フランチェスコ・コロナ (1432/33-1527)
「ポリュフィルス狂恋夢」, ヴェネツィア, 1499年, 初版.

Colonna, Francesco. (1432/33-1527)

Hypnerotomachia Poliphili. Venezia, 1499. First edition.

0030

シカゴ・トリビューン社
「シカゴ・トリビューン新社屋競技設計作品集」,
シカゴ, 1923年, 初版.

Chicago Tribune.

The international competition for new administration
building for the Chicago Tribune. Chicago, 1923. First
edition.

書簡

9901

アルベルト・アインシュタイン
Einstein, Albert. (1879-1955)
自筆研究ノート (年代不詳)

9902

マリー・スクウォドフスカ・キュリー
Curie, Marie Sktodowska. (1867-1934)
自筆署名 (年代不詳)

9903

トーマス・オールヴァ・エディソン
Edison, Thomas Alva. (1847-1931)
自筆指示メモランダム (年代不詳)

9904

オーヴィル・ライト
Wright, Orville. (1871-1948)
米国航空協会競技認証自筆署名 (1929年4月1日付)

9905

アレクサンダー・グラハム・ベル
Bell, Alexander Graham. (1847-1922)
自筆書簡 (1880年7月2日付)

※都合により出品物は変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。



「知の森」(1F,2F)

THE FOREST OF WISDOM

オリジナル原書は、それ自身が、そのマティエール、テクスチャなど作品（オブジェ）としての魅力に溢れています。ここでは参加者は森の中のエクスプローラー「知の探検者」となります。科学的発見、技術的発明は常に先人の成果に関連しながら、次の新たな「ひらめき」や「発見」へと、「知の連鎖」を繰り返し、人類の文化を前進させてきました。「知の森」のネットワーク、科学の結びつきを体感するとともに、原書の魅力を感じ取ってみてください。

Check **20**

著名な科学者の代表的な書物。時代を大きく変えた重要な書物。是非チェックしたい 20 冊を紹介します。リストと MAP の中で★で表示しています。

※のついた書物は、下に画像を紹介しています。

1 「古代の知の伝承」

0101 ※★
イシドールス (c.570-636)
「語源学」、アウグスブルグ、1472 年、初版。

Isidorus Hispalensis. (c.570-636)
Etymologiae, Augsburg, 1472, First edition.

科学及び技術用語を含む術語を解説した一種の百科全書。イシドールスは 6 世紀スペインの人で、この書物を書くことによって、古代の科学技術知識を中世に伝える役目を果たした。数学、天文学、解剖学、地学、鉱物学、工学、建築学、農学、気象学などの古代科学技術の貴重な概説を含んでいる。

0102 ※★
エウクレイデス (=ユークリッド) (c.330-235 B.C.)
「原論 (幾何学原本)」, ヴェネツィア, 1482 年, 初版。

Euclides. (c.330-235 B.C.)
Preclarissimus liber elementorum Euclidis perspicacissimi,... Venetiis, 1482. First edition.

ユークリッドはプトレマイオス一世がアレクサンドリアに創った大図書館兼研究所「ムセイオン」の数学部門の長。本書は、彼以前のギリシア幾何学の全成果をこの一冊に体系としてまとめたもの。中世・近世を通じて教科書として用いられ、現在もなお中学校や高等学校で教えられている。

0103
ボエティウス (c.480-524)
「算術」、アウグスブルグ、1488 年、初版。

Boethius Anicius Manlius Severinus. (c.480-524)
Arithmetica Boetij. Augsburg, 1488. First edition.

0104 ※★
アリストテレス (384-322 B.C.)
「ギリシア語による著作集」, ヴェネツィア, 1495-1498 年, 初版。

Aristoteles. (384-322 B.C.)
Organon opera omnia Graece. Venetiis, 1495-1498. First edition.

アリストテレスは師プラトンと並ぶ古代ギリシア最大の哲学者だが、同時に最大の自然科学者でもあった。彼は自然の研究では、実際の経験、観察から出発し、論理的推論によって研究すべきであるとし、自然科学研究の基本を確立した。つまり「科学的な考え方」を確立したのである。

0105
ヨルダヌス・ネモラリウス (fl. c. 1220)
「算術十書」、パリ、1496 年、初版。

Jordanus Nemorarius. (fl. c.1220)
Arithmetica decem libris demonstrata. Paris, 1496. First edition.

0106 ※★
レギオモンタヌス (1436-1476)
「アルマゲスト (偉大なるプトレマイオス)」, ヴェネツィア, 1496 年, 初版。

Regiomontanus Johannes. (1436-1476)
Epytoma in almagestum Ptolemei. Venezia, 1496. First edition.

プトレマイオス (90-168 頃活動) はエジプト、アレクサンドリアの天文学者・地理学者。彼が確立した天動説は、コペルニクスが地動説を発表するまで 1300 年もの間信じられてきた。ドイツの天文学者レギオモンタヌスは熱烈な信奉者で、プトレマイオスの著作をラテン語に抄訳し注釈を加えて初めて出版した。これが本書である。

0107 ※★
アルキメデス (c.287-212 B.C.)
「四辺形、円の求積法」, ヴェネツィア, 1503 年, 初版。

Archimedes. (c.287-212B.C.)
Tetragonismus id est circurli quadratura per Campanum Archimedem Syracusanum atque Boetium mathematicae perspicacissimos adiuventa. Venezia, 1503. First edition.

アルキメデスは古代最大の数学者、物理学者、工学者。本書はアルキメデスの著作で最初に印刷出版されたもので、彼の放物線で囲まれた図形の求積法の新しい解析を含んでいる。この求積法は 17 世紀に確立された微積分法の原点になった。これはアルキメデスの数学における最も大きな貢献とされている。また、円周率の確定に関する論文も含まれている。

0108
アポロニウス (c.245-190 B.C.)
「卓越する数学者の全集」, ヴェネツィア, 1537 年, 初版。

Apollonius Pergaeus. (c.245-190 B.C.)
Philosophi mathematiciqve excellentissimi opera: libri I - IV,... Venezia, 1537. First edition.

0109
アルキメデス (c.287-212 B.C.)
「哲学及び幾何学の卓越せる全集」, パーゼル, 1544 年, 初版。

Archimedes. (c.287-212 B.C.)
Archimedes Syracusani Philosophi ac Geometriae Excellentissimi Opera,... Basileae, 1544. First edition.

2 「ニュートン宇宙」

0201 ※★
ニコラス・コペルニクス (1473-1543)
「天球の回転について」, ニュールンベルク, 1543 年, 初版。

Copernicus, Nicolaus. (1473-1543)
De revolutionibus orbium coelestium,... Norimbergae, 1543. First edition.

「地動説」という太陽系モデルを確立した科学技術史上最大の業績。プトレマイオス「天動説」が実際の観測結果と合わなくなり、コペルニクスは古代ギリシアのアリスタルコスが唱えた太陽中心説に着目してモデルを組み替えたのである。この後、ケプラーが「楕円軌道」を、ニュートンが「引力の法則」を発見して、その正しさが証明された。

0202 ※★
ヨハネス・ケプラー (1571-1630)
「新天文学」, プラハ, 1609 年, 初版。

Kepler, Johannes. (1571-1630)
Astronomia nova,... Pragae, 1609. First edition.

ケプラーは観測結果と整合的な太陽中心の惑星運行法則、いわゆる「ケプラーの三法則」を発見した。その第一、第二法則が発表されたのが本書である。第一法則は「惑星は太陽を中心とする楕円軌道を運行する」、第二法則は「太陽と軌道上を移動する惑星とを結ぶ直線は、同一時間に同一面積を描く」である。

0203 ★
ガリレオ・ガリレイ (1564-1642)
「星界の報告」, ヴェネツィア, 1610 年, 初版。

Galilei, Galileo. (1564-1642)
Sidereus nuncius Magna,... Venetiis, 1610. First edition.

望遠鏡の発明に刺激されたガリレオは、早速自ら望遠鏡を製作し、天文観測に応用した。彼はまず月を、そして木星や金星を観測し、その観測結果を本書に纏め、美しい図版を付けて出版した。本書はコペルニクスの天文学的仮説を可視的に初めて実証し、センセーションを巻き起こした。また、太陽と惑星間に働く力の合理的説明を要求したのである。

0204
ガリレオ・ガリレイ (1564-1642)
「世界二大体系についての対話」, フィレンツェ, 1632 年, 初版。

Galilei, Galileo. (1564-1642)
Dialogo,... sopra i due massimi sistemi del mondo Torematico, e Copernicano. Firenze, 1632. First edition.

0205 / 0206 ※★★
アイザック・ニュートン (1642-1727)
「自然哲学の数学的原理(プリンキピア)」, ロンドン, 1687 年, 初版。

Newton, Isaac. (1642-1727)
Philosophiae naturalis principia mathematica. Londini, 1687. First edition.

ニュートンは、本書で新しい宇宙観、宇宙の新しい「パラダイム」を作り上げた。第一部では有名なニュートンの三法則、慣性の法則、運動の法則、作用・反作用の法則を提示。第二部では流体力学を論じ、第三部はニュートン最大の業績である万有引力論が発表されている。

0207
ヨハネス・ケプラー (1571-1630)
「世界の調和」, リンツ, 1619 年, 初版。

Kepler, Johannes. (1571-1630)
Harmonices mundi. Linclii, 1619. First edition.

3 「解析幾何」

0301
ジロラモ・カルダーノ (1501-1576)
「代数規則についての大技術」, ニュールンベルク, 1545 年, 初版。

Cardano, Girolamo. (1501-1576)
Artis magnae sive de regulis algebraicis,... Norimbergae, 1545. First edition.

0302
ジョン・ネーピア (1550-1617)
「驚くべき対数法則の記述」, エディンバラ, 1614 年, 初版。

Napier, John. (1550-1617)
Mirifici logarithmorum canonis descriptio,... Edindvrgi, 1614. First edition.

0303 ※★
ルネ・デカルト (1596-1650)
「方法序説」, ライデン, 1637 年, 初版。



0101

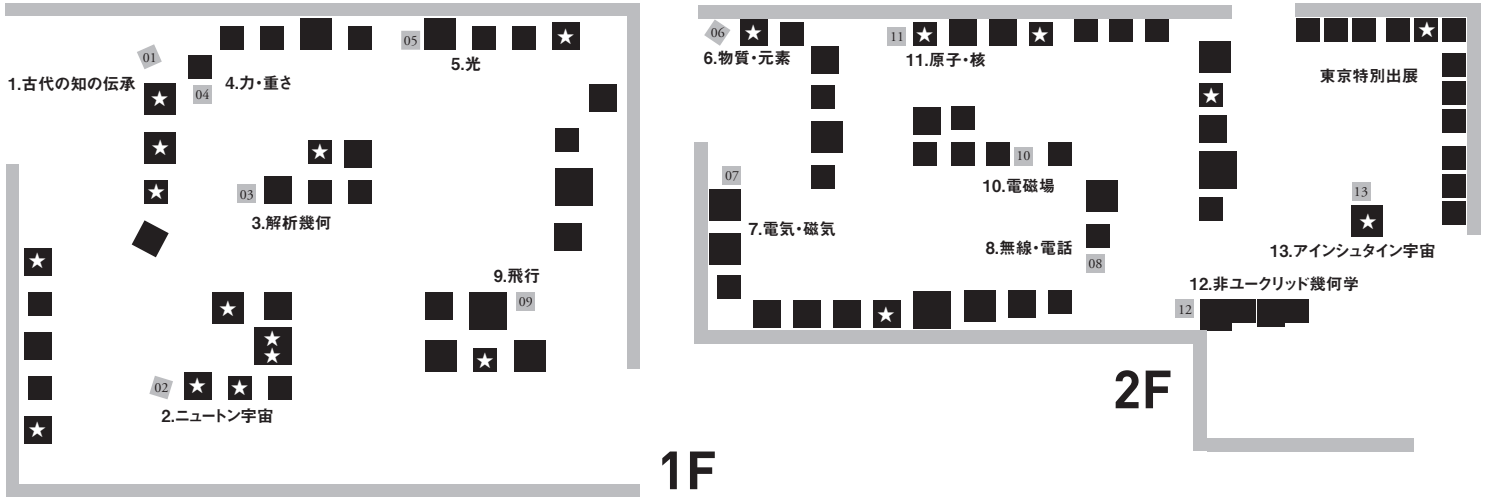


0102



0104

「知の森」MAP



Descartes, René. (1596-1650)
Discours de la méthode pour bien conduire sa raison,...
Leyden, 1637. First edition.

近世最大の哲学者デカルトは、数学、物理学者でもあった。本書には「方法叙説」の他「光学」「幾何学」「気象学」が収められている。「方法序説」において「我思う、故に我あり（コギト・エルゴ・スム）」が全ての思考の基礎であるとし、これが近代哲学の出発点となった。しかし本書で最も重要なことは、「幾何学」において空間座標の概念を示し、解析幾何学を創始したことである。このことによって、「運動」が代数で解ける様になったからである。

0304
ゴットフリート・ウィルヘルム・ライプニッツ (1646-1716)
「極大と極小に関する新しい方法」、ライプツィヒ、1684年、初版。

Leibniz, Gottfried Wilhelm. (1646-1716)
Nova methodus pro maximis et minimis,... Lipsiae, 1684.
First edition.

0305
レオンハルト・オイラー (1707-1783)
「無限解析入門」、ローザンヌ、1748年、初版。

Euler, Leonhard. (1707-1783)
Introductio in analysin infinitorum,... Lausannae, 1748. First
edition.

4 「カ・重さ」

0401
タルターリア (1501-1576)
「新科学」、ヴェネツィア、1537年、初版。

Tartaglia (Fontana), Nicolo. (1501-1576)
Nova scientia,... Venezia, 1537. First edition.

0402
ヨルダヌス・ネモラリウス (fl. c.1220)
「タルターリアの研究によって正された重さについての書」、
ヴェネツィア、1565年、初版。

Jordanus Nemorarius. (fl. c.1220)
Iordani opusculum de ponderositate Nicolai Tartalae studio
correctum,... Venezia, 1565. First edition.

0403
シモン・ステヴィン (1548-1620)
「つり合いの原理」、ライデン、1586年、初版。

Stevin, Simon. (1548-1620)
De beghinselen der weeghconst,... Leyden, 1586. First
edition.

0404
ガリレオ・ガリレイ (1564-1642)
「新科学対話」、ライデン、1638年、初版。

Galilei, Galileo. (1564-1642)
Discorsi e dimostrazioni mathematiche,... Leida, 1638. First
edition.

0405
クリスティアン・ホイヘンス (1629-1695)
「振り時計」、パリ、1673年、初版。

Huygens, Christiaan. (1629-1695)
Horologium oscillatorium,... Parisiis, 1673. First edition.

5 「光」

0501
アル＝ハゼン (イブン・アル＝ハイサム)(c.965-1040)
「光学宝典」、バーゼル、1572年、初版。

Al-Hazen. (Ibn-Al-Haytham)(c.965-1040)
Opticae thesaurus, libri septem, nuuc primum editi. Basiliae,
1572. First edition.

0502
ヨハネス・ケプラー (1571-1630)
「天文学の光学的部分を扱うウィテロへの補遺」、フランクフルト、
1604年、初版。

Kepler, Johannes. (1571-1630)
Ad vitellionem paralipomena, quibus astronomiae pars
optica traditur,... Francofulti, 1604. First edition.

0503
C. H. D. Z. (クリスティアン・ホイヘンス)(1629-1695)
「光についての論考」、ライデン、1690年、初版。

C. H. D. Z. (Huygens, Christiaan.)(1629-1695)
Traité de la lumière,... Leide, 1690. First edition.

0504
アイザック・ニュートン (1642-1727)
「光学：反射、屈折、光の伝播と色について」、ロンドン、1704年、
初版。

Newton, Isaac. (1642-1727)
Opticks: or, a treatise of the reflexions, refractions,...
London, 1704. First edition.

0505
トーマス・ヤング (1773-1829)
「色と光の理論について」、ロンドン、1802年、初版。

Young, Thomas. (1773-1829)
On the theory of light and coloures. London, 1802. First
edition

0506
トーマス・ヤング (1773-1829)
「自然哲学及び機械技術に関する講義」、ロンドン、1807年、初版。

Young, Thomas. (1773-1829)
A course of lectures on natural philosophy and mechanical
arts. 2 vols. London, 1807. First edition.

0507
ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ (1749-1832)
「色彩論」、チュービンゲン、1810年、初版。

Goethe, Johann W. von. (1749-1832)
Zur Farbenlehre. Tübingen, 1810. First edition.

0508 ※★
ロバート・フック (1635-1703)
「微細物誌」、ロンドン、1665年、初版。

Hooke, Robert. (1635-1703)
Micrographia. London, 1665. First edition.

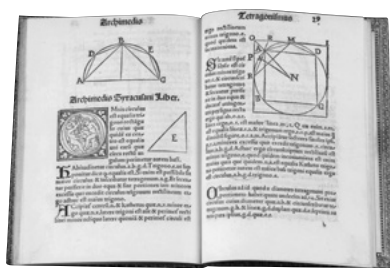
「フックの法則」で知られるフックは、17世紀最大の実験科学者であり、さまざまな重要な科学器具を考案、改良、製作した。本書は、自身が考案、製作した複合顕微鏡を用いて種々の観察を行い、その結果をまとめたもの。植物の細胞を発見し、細胞（セル）と名付けた。フック自身の手になるエッチングは精密で迫力に満ちている。

0509
ウィテロ (c.1230- c.1280-1314)
「数学者ウィテロによる光学」、ニュールンベルク、1535年、初版。

Witelo. (c.1230-c.1280-1314)
Vitellionis mathematici doctissimi, periopitikes. Norimbergae,
1535. First edtion.



0106



0107



0201

6 「物質・元素」

0601 ※★

ヒエロニムス・ブルンシュヴィヒ (c.1450-1512)
「真正蒸留法」, ストラスプール, 1500年, 初版.

Brunschwig, Hieronymus. (c.1450-1512)
Liber de arte distillandi de simplicibus. Strasbourg, 1500.
First edition.

ブルンシュヴィヒは、ストラスプール生まれの外科医。本書では様々な病気やけがの薬について、薬草からの蒸留抽出法を美しい挿絵を用いて詳述している。本書は薬剤製造の最も権威あるハンドブックとして16世紀まで重用された。化学の始めと言って良い。巻末には貧しい人々のために、安価に入手できる薬のリストも。

0602

ゲオルギウス・アグリコラ (1494-1555)
「金属について (デ・レ・メタリカ)」, パーゼル, 1556年, 初版.

Agricola, Georgius. (1494-1555)
De re metallica,... Basileae, 1556. First edition.

0603

ジャンバッティスタ・デッラ・ボルタ (1535-1615)
「蒸留法九書」, ローマ, 1608年, 初版.

Porta, Giambattista della. (1535-1615)
De distillationelib IX. Romae, 1608. First edition.

0604

ロバート・ボイル (1627-1691)
「懐疑的化学者」, ロンドン, 1661年, 初版.

Boyle, Robert. (1627-1691)
The sceptical chymist,... London, 1661. First edition.

0605 / 0606

アントワヌ・ラヴォアジエ (1743-1794)
「化学要論」, パリ, 1789年, 初版.

Lavoisier, Antoine Laurent. (1743-1794)
Traiteelementaire de chimie. Paris, 1789, First edition.

0607

ハンフリー・デーヴィ (1778-1829)
「化学哲学要論・第一巻」, ロンドン, 1812年, 初版.

Davy, Humphry. (1778-1829)
Elements of chemical philosophy. vol.1. London, 1812. First edition.

7 「電気・磁気」

0701

ジャン・テニエ (1509-?)
「磁石の本性とその効果の価値について」, ケルン, 1562年, 初版.

Taisnier, Jean. (1509-?)
Opusculum perpetua memoria dignissimum de natura magnetis et eius effectibus. Coloniae, 1562. First edition.

0702

ウィリアム・ギルバート (1544-1603)
「磁石及び磁性体ならびに大磁石としての地球の生理学」, ロンドン, 1600年, 初版.

Gilbert, William. (1544-1603)
De magnete, magneticisque corporibus, et de magno magnetete tellure,... Londini, 1600. First edition.

0703

オットー・フォン・ゲーリケ (1602-1686)
「真空についての (いわゆる) マグデブルグの新実験」, アムステルダム, 1672年, 初版.

Guericke, Otto von. (1602-1686)
Experimenta nova (ut vocantur) magdeburgica de vacuo spatio. Amstelodami, 1672. First edition.

0704

ベンジャミン・フランクリン (1706-1790)
「フィラデルフィアにおける電気に関する実験と観察」, ロンドン, 1751-1754年, 第一部 初版, 第二部 第二版, 第三部 初版.

Franklin, Benjamin. (1706-1790)
Experiments and observations made on electricity at Philadelphia,... London, 1751-1754. First edition of parts I and III, with second edition of part II.

0705

シャルル・クーロン (1736-1806)
「電気と磁気についての研究」, パリ, 1785-1789年, 初版.

Coulomb, Charles A. (1736-1806)
Memoires sur l'electricite et le magnetisme,... Paris, 1785-1789. First edition.

0706

ルイジ・ガルヴァーニ (1737-1798)
「筋肉運動による電気力」, ポロニア, 1791年, 初版.

Galvani, Luigi. (1737-1798)
De viribus electricitatis in motu musculari. Bononiae, 1791. First edition.

0707

アレックスandro・ヴォルタ (1745-1827)
「異種の導体の単なる接触により起る電気」, ロンドン, 1800年, 初版.

Volta, Alessandro. (1745-1827)
On the electricity excited by the mere contact with conducting substances of different kinds. London, 1800. First edition.

0708

アンドレー・マリー・アンペール (1775-1836)
「二種の電流の相互作用」, パリ, 1820年, 初版.

Ampère, André Marie. (1775-1836)
Mémoires sur l'action mutuelle de deux courans électriques, Paris, 1820. First separate edition.

0709

ゲオルグ・ジーモン・オーム (1789-1854)
「数学的に取り扱ったガルヴァーニ電池」, ベルリン, 1827年, 初版.

Ohm, Georg Simon. (1789-1854)
Die galvanische Kette, mathematisch bearbeitet von Dr. G.S. Ohm. Berlin, 1827. First edition.

0710

マイケル・ファラデー (1791-1867)
「電気の実験的研究 第I、II、III巻」, ロンドン, 1839-44, 1855年, 初版.

Faraday, Michael. (1791-1867)
Experimental researches in electricity. 3 vols. London, 1839-44, 1855. First collected edition.

0711 ★

トーマス・オールヴァ・エディソン (1847-1931)
「ダイナモ発電機・特許説明書, 特許番号 No.297, 587 合衆国特許局」, ワシントンD.C., 1884年4月29日.

Edison, Thomas Alva. (1847-1931)
Dynamo-electric machine. Specification forming part of letters patent No.297, 587, dated April 29, 1884. Washington D.C. (United States Patent Office. No. 32.)

1831年の電磁誘導現象の発見は、直ちに機械的な力の電気力への変換につながった。エディソンは、元プロイセン陸軍将校のフォン・ジーメンスによる「ダイナモの原理」を用いて発電機を発明したのである。本書は、エディソンが更に効率の良い発電機を開発した時に、特許取得のために提出した説明書である。

8 「無線・電話」

0801

アレクサンダー・グラハム・ベル (1847-1922)
「電話の研究」, ボストン, 1877年, 初版.

Bell, Alexander Graham. (1847-1922)
Researches in telephony. Boston, 1877. First edition.

0802

ハインリヒ・ルドルフ・ヘルツ (1857-1894)
「非常に速い電氣的振動について」, ライツヒ, 1887年, 初版.

Hertz, Heinrich Rudolph. (1857-1894)
Ueber sehr schnelle elektrische Schwingungen. Leipzig, 1887. First edition.

0803

グリエルモ・マルコーニ (1874-1937)
「無線通信」, ロンドン, 1899年, 初版.

Marconi, Guglielmo. (1874-1937)
Wireless telegraphy. London, 1898. First edition.

9 「飛行」

0901

ラナ・テルツィ (1631-1687)
「偉大な技術に基く新発明」, プレスキア, 1670年, 初版.

Lana Terzi, Francesco. (1631-1687)
Prodromo overo saggio di alcune inventioni nuove,... Brescia, 1670. First edition.

0902 / 0903

フォジャ・ド・サンフォン (1741-1819)
「モンゴルフィエ兄弟の気球体験記」, パリ, 1783-1784年, 初版.

Faujas de Saint-Fond, Barthelemy. (1741-1819)
Description des expériences de la machine aérostatique de MM. de Montgolfier,... Paris, 1783-1784. First edition.

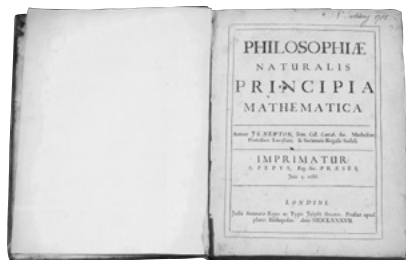
0904

ダニエル・ベルヌーイ (1700-1782)
「流体力学」, シュトラスプール, 1738年, 初版.

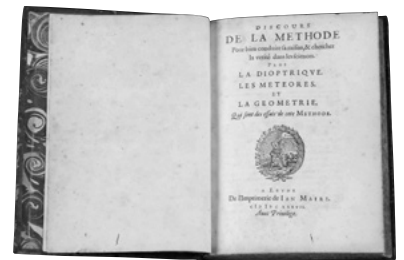
Bernoulli, Daniel. (1700-1782)
Hydrodynamica,... Strausburg, 1738. First edition.



0202



0205



0303

0905
オットー・リリエンタール (1848-1896)
「飛行術の基礎となる鳥の飛翔」, ベルリン, 1889年, 初版.

Lilienthal, Otto. (1848-1896)
Der Vogelflug als Grundlage der Fliegekunst,... Berlin, 1889.
First edition.

0906 ★
ウィルバー・ライト (1867-1912)
「航空実験」, シカゴ, 1901年, 初版.

Wright, Wilbur. (1867-1912)
Some aeronautical experiments. Chicago, 1901. First edition.

ライト兄弟はリリエンタールらのグライダー研究書を読み、実際の飛行経験をもとに自転車の部品を用いて安定性と操縦性に優れたグライダーを設計製作していた。次いで軽く改良したエンジンを搭載し、1903年12月、ノース・カロライナ州キティ・ホークで1分間、255mの動力飛行に成功。数日後には30分、40kmへと伸ばした。本書は動力飛行のために行われたグライダー飛行実験の記録である。

0907
ロバート・H・ゴダード (1882-1945)
「液体燃料推進ロケットの開発」, ワシントン D. C., 1936年, 初版.

Goddard, Robert H. (1882-1945)
Liquid-propelled rocket development. Washington D.C. 1936. First edition.

0908
合衆国大統領調査委員会
「スペース・シャトル・チャレンジャー号の事故に関する大統領調査委員会報告」, ワシントン D.C., 1986年, 初版.

The Presidential Commission.
Report of the Presidential Commission on the Space Shuttle Challenger Accident. Washington, D.C., 1986. First edition.

10 「電磁場」

1001
ジェイムズ・クラーク・マクスウェル (1831-1879)
「電磁場の力学的理論」, ロンドン, 1865年, 初版.

Maxwell, J. Clerk. F. R. S. (1831-1879)
A Dynamical theory of the electromagnetic field. London, 1865. First edition.

1002
ヘンドリック・ローレンツ (1853-1928)
「マクスウェルの電磁気論とその運動体への応用」, ライデン, 1893年, 初版.

Lorentz, Hendrik. A. (1853-1928)
La théorie électromagnétique de Maxwell, et son application aux corps mouvants. Leiden, 1893. First edition.

1003
ヘンドリック・ローレンツ (1853-1928)
「運動物体の電氣的、光学的現象に関する試論」, ライデン, 1895年, 初版.

Lorentz, Hendrik. A. (1853-1928)
Versuch einer Theorie der Electricischen und optischen erscheinungen in bewegten Körpern. Leiden, 1895. First edition.

1004
アルバート・マイケルソン (1852-1931), エドワード・モーリー (1838-1923)
「地球と発光性エーテルの相対運動について」, ロンドン, 1887年, 初版.

Michelson, Albert. (1852-1931), Morley, Edward. (1838-1923)
On the relative motion of the earth and the luminiferous ether. London, 1887. First edition.

1005
ルネ・デカルト (1596-1650)
「哲学の原理」, アムステルダム, 1644年, 初版.

Descartes, René. (1596-1650)
Principia philosophiae. Amsterdam, 1644. First edition.

11 「原子・核」

1101 ★
ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン (1845-1923)
「新種の放射線について」, ヴュルツブルク, 1895-1896年, 初版.

Röntgen, Wilhelm Conrad. (1845-1923)
Ueber eine neue Art von Strahlen. Würzburg, Part I, 1896, (for 1895), PartII, 1897, (for 1896), First edition.

1895年秋、ヴュルツブルグ大学物理学教授レントゲンはクルックス管を用いて陰極線の実験をしていた。その際、紙に包んだクルックス管から2mも離れた所に置いてあったシアノ白金酸バリウムを塗った紙が蛍光を発しているのを発見した。彼はこの蛍光を生じさせた放射線をX線と名付け、基本的性質を確かめた。本書はこの発見の第一報と第二報であり、講演報告をまとめたもので、最初のレントゲン写真の公表でもあった。

1102
ビエール・キュリー (1859-1906) ; マリー・スクウォドフスカ・キュリー (1867-1934)
「ピッチブレンドの中に含まれている新種の放射性物質について」, パリ, 1898年, 初版.

Curie, Pierre. (1859-1906) & Curie, Marie Skłodowska. (1867-1934)
Sur une substance nouvelle radio-active contenue dans la pechblende. Paris, 1898. First edition.

1103
マックス・プランク (1858-1947)
「正規スペクトルのエネルギー分散則の理論」, ライプツィヒ, 1900年, 初版.

Planck, Max. (1858-1947)
Zur Theorie des Gesetzes der Energie Verteilung im Normalspectrum. Leipzig, 1900. First edition.

1104 ★
マリー・スクウォドフスカ・キュリー (1867-1934)
「放射性物質の研究」, パリ, 1903年, 初版.

Curie, Marie Skłodowska. (1867-1934)
Recherches sur les substances radioactives. Paris, 1903. First edition.

ピッチブレンドからウランの放射能の300倍も強い放射能を持つ新元素ポロニウムの分離に成功したキュリー夫妻はさらに研究を続け、ウランの100万倍も強い放射能を持つ新元素を発見した。夫妻はこれをラジウムと名付け、1902年には純粋なラジウム0.1gを分離するのに成功した。これらの研究のすべてを学位論文にまとめたが本書である。キュリーは核物理学を開拓したのである。

1105
アントワヌ・アンリ・ベックレル (1852-1908)
「物質の新しい性質の研究」, パリ, 1903年, 初版.

Bequerel, Antoine Henri. (1852-1908)
Recherches sur une propriété nouvelle de la matière,... Paris, 1903. First edition.

1106
アーネスト・ラザフォード (1871-1937)
「放射性変換」, ロンドン, 1906年, 初版.

Rutherford, Ernest. (1871-1937)
Radioactive transformations. London, 1906. First edition.

1107
アーネスト・ラザフォード (1871-1937)
「軽い原子とα粒子の衝突」, ロンドン, 1919年, 初版.

Rutherford, Ernest. (1871-1937)
Collision of alpha particles with light atoms. London, 1919. First edition.

1108
エルヴィン・シュレディンガー (1887-1961)
「波動力学についての四講」, ロンドン, 1928年, 初版.

Schrödinger, Erwin. (1887-1961)
Four lectures on wave mechanics. London, 1928. First edition.

1109
ロバート・A・ミリカン (1868-1953)
「電子、陽子、光子、中性子および宇宙線」, ケンブリッジ, 1935年, 初版.

Millikan, Robert A. (1868-1953)
Electrons (+ and -), Protons, Photons, Neutrons, and Cosmic Rays. Cambridge, 1935. First edition.

1110
オットー・ハーン (1879-1968), フリッツ・ストラスマン (1902-1980)
「低速中性子によるウランの核分裂」, ベルリン, 1939年, 初版.

Hahn, Otto (c.1879-1968) & Strassmann, Fritz (1902-1980)
Über das Zerplatzen des Urankernes durch langsame Neutronen. Berlin, 1939. First edition.

1111
ヘンリー・スマイス (1898-?)
「合衆国政府助成 (1940-1945) のもとに行われた原子力の軍事目的利用開発の概要」, ワシントン D.C., 1945年, 初版.

Smyth, Henry. (1898-?)
A general account of the development of methods of using atomic energy, for military purposes. Washington, D. C., 1945. First edition.

1112
合衆国戦略爆撃調査団
「広島、長崎に対する原子爆弾の効果」, ワシントン D.C., 1946年, 初版.

U.S. Strategic Bombing Survey.
The effects of atomic bombs on Hiroshima and Nagasaki. Washington, D. C., 1946. First edition.



0508



0601



1301

1113★

湯川秀樹 (1907-1981)

「素粒子の相互作用について」, 東京, 1935年, 初版.

Hideki Yukawa. (1907-1981)

On the interaction of elementary particles II. In the Proceedings of Physico-Mathematical Society of Japan, 3rd Series, 17,pp. 48 – 57. Tokyo: Physico-Mathematical Society of Japan, 1935. First edition.

湯川はこの論文で、原子核の中の陽子と中性子を結びつけている核力をなしている中間子の存在を予言した。1947年、イギリスのセシル・パウエルが宇宙線の中からπ中間子を発見、1948年には粒子加速器によってこれが作られて湯川理論が実証された。この功績によって1949(昭和24)年、日本人初のノーベル賞を受賞したのである。

1114

長岡半太郎 (1865-1950)

「線および帯スペクトルと放射能現象を示す粒子（電子）系の運動」, ロンドン, 1904年, 初版.

Hantaro Nagaoka. (1865-1950)

Kinetics of a system of particles illustrating the line and band spectrum and phenomena of radioactivity. London, 1904. First edition.

12「非ユークリッド幾何学」

1201 / 1202

ニコライ・イヴァノヴィッチ・ロバチェフスキー (1793-1856)

「幾何学の起源について、カザン帝国大学紀要, 25号 (1829),27号及び28号 (1830) 所収」, カザン, 1829-1830年, 初版.

Lobachevskii, Nikorai Ivanovitch. (1793-1856)

O nachalakh geometrii. In Kazanskii vestnik, izdavaemy i pri Imperatorskom Kazamskom Universitete. Nos 25 (1829), Nos 27 and 28 (1830), 2 vols. Kazan, 1829-1830, First edition.

1203

ヤーノシュ・ボヤイ (1802-1860)

「<補遺> 空間の絶対科学」, 不詳, 1832-1833年, 初版.

Bolyai, Janos. (1802-1860)

Appendix scientiam spatii absolute veram exhibens,... In: Bolyai, Farkas (1775-1856). Tentamen juventutem studiosam in elementa matheseos purae,... 1832-1833. First edition.

1204

ゲオルグ・リーマン (1826-1866)

「幾何学の基礎にある仮説について」, ゲッティンゲン, 1867年, 初版.

Riemann, Georg. (1826-1866)

Über die Hypothesen, welche der Geometrie zu Grunde liegen. Göttingen, 1867. First edition.

1205

ヘルマン・ミンコフスキー (1864-1909)

「空間と時間」, ライプツィヒ, ベルリン, 1909年, 初版.

Minkowski, Hermann. (1864-1909)

Raum und Zeit. Leipzig & Berlin, 1909. First edition.

Pascal, Blaise. (1623-1662)

Traitéz de l'équilibre des liqverus,... Paris, 1663. First edition.

SP06

セバスチャン・ル・プレストル・ド・ヴォーバン (1633-1707)

「要塞都市の攻撃と防衛 第1、II巻」, ハーグ, 1737-1742年, 初版.

Sébastien le Prestre de Vauban. (1633-1707)

De l'attaqu et de la defense des places 2 vols. La Haye, 1737-1742. First edition.

SP07

ヘルマン・フォン・ヘルムホルツ (1821-1894)

「力の保存について」, ベルリン, 1847年, 初版.

Helmholtz, Hermann von. (1821-1894)

Über die Erhaltung der Kraft, eine physikalische Abhandlung Berlin, 1847. First edition.

SP08★

チャールズ・ダーウィン (1809-1882)

「種の起源」, ロンドン, 1859年, 初版.

Darwin, Charles Robert. (1809-1882)

On the origin of species,... London, 1859. First edition.

有名なビーグル号の航海に乗艦したダーウィンは、フィンチ（スズメの一種）の14種類もの変種がガラパゴス群島に生息し、変種ごとに群島の特定地域に繁殖しているのを見た。彼は当初この事実を軽視したが、最終的には、14の変種が独立して発生したとは考え難く、エクアドルの原種から展開したと見るのが妥当だと考えた。そしてダーウィンは本書で、種は常に環境に適合するように変化するという彼の進化論を、世に問うたのである。

SP09

グレゴール・ヨハン・メンデル (1822-1884)

「植物=雑種についての研究」, プリュン, 1866年, 初版.

13「アインシュタイン宇宙」

1301※★

アルベルト・アインシュタイン (1879-1955)

「一般相対性理論の基礎」, ライプツィヒ, 1916年, 初版.

Einstein, Albert. (1879-1955)

Die Grundlage der allgenmeinen Relativitätstheorie. Leipzig, 1916. First edition.

アインシュタインは本書で、相対性の一般理論を作り上げた。すでに発表していた「特殊相対論」を、慣性力による直線等速運動だけでなく、加速や減速や遠心力といった非等速運動系にも適用すべく、彼はミンコフスキー時空間とリーマン幾何学を援用する形で、宇宙内に分散する質量によって生成する空間（時間的量）を意味する「重力の場」という概念を提起した。それによりあらゆる運動を説明できる統一宇宙論を構築したのである。

1302

アルベルト・アインシュタイン (1879-1955)

「特殊相対性理論及び一般相対性理論」, ブラウンシュヴァイク, 1917年, 初版.

Einstein, Albert. (1879-1955)

Über die speziele und allgemeine relativitäts theorie. Braunschweig, 1917. First edition.

Einstein, Albert. (1879-1955)

Über die speziele und allgemeine relativitäts theorie. Braunschweig, 1917. First edition.

Mendel, Gregor Johan. (1822-1884)

Versuche über Pflanzen - Hybriden. Brünn, 1866. First edition.

SP10

アレクサンダー・フレミング (1881-1955)

「アオカビ培養基（ペニシリウム）の抗菌作用」, ロンドン, 1929年, 初版.

Fleming, Alexander. (1881-1955)

On the antibacterial action of cultures of a Penicillium. London, 1929. First edition.

SP11

ジェームズ・ワトソン (1928-), フランシス・クリック (1916-2004)

「核酸の分子的構造」, ロンドン, 1953年, 初版.

Watson, James D. (1928-) & Crick, Francis H. (1916-2004)

Molecular Structure of Nucleic Acids. London, 1953. First edition.

SP12

アメリカ合衆国航空宇宙局 (NASA)

「アポロ11号任務記録 (月着陸交信記録)、月面への第一歩」, ヒューストン, 1969年, 初版.

National Aeronautics and Space Administration, NASA.

Apollo first steps on the Moon, Apollo 11 mission commentary. Houston, 1969. First edtion.

映像シアター (2F)

「ミュージアムトーク」(約82分)

本展監修者 竺覚暁 (チクカクギョウ) の名古屋展 (2013年) におけるミュージアムトークをご覧いただけます。

東京展特別出展

SP01

アルブマサル (アブ・マアシャル) (c.810-886)

「占星術」, アウグスブルグ, 1488年, 初版.

Albumasar. (Abu Ma' shar).(c.810-886)

Flores astrologiae. Augsburg, 1488. First edition.

SP02

ガイウス・プリニウス=セクンドゥス (c.23-79 A.D.)

「博物誌三十七書」, ヴェネツィア, 1513年, 挿画入初版.

Plinius Secundus, Gaius. (c.23-79 A.D.)

Historiae naturalis libri XXXVII.

Venetis, 1513. First illustrated edition.

SP03

ジョルジョ・ヴァザーリ (1511-1574)

「最も優れた画家、彫刻家、建築家の生涯」, フィレンツェ, 1568年, 増補改訂版.

Vasari, Giorgio. (1511-1574)

Le vite de'piu eccellenti pittori, sculturi e architettori.

Firenze, 1568. Revised edition.

SP04

ヨハネス・ヘヴェリウス (1611-1687)

「天文機械上巻」, ダンツィヒ, 1673年, 初版.

Hevelius, Johannes. (1611-1687)

Machinae coelestis pars prior; organographiam, sive instrumentorum astronomicuorm omnium.

Gedani, 1673. First edition.

SP05

ブレーズ・パスカル (1623-1662)

「液体の平衡及び空気の質量の測定についての論述」, バリ, 1663年, 初版.

「複製本」(レプリカブック) のご紹介 (1F)

現在、金沢工業大学が所蔵する稀観書タイトルと同じ内容の「レプリカ本」の一部をご紹介します。

RE-0102
エウクレイデス (=ユークリッド) (c. 330-235 B.C.) (複製本)
「原論 (幾何学原本)」, ヴェネツィア, 1482 年, 初版。

RE-0204
ガリレオ・ガリレイ (1564-1642) (複製本)
「世界二大体系についての対話」, フィレンツェ, 1632 年, 初版。

RE-0206
アイザック・ニュートン (1642-1727) (複製本)
「自然哲学の数学的原理 (プリンキピア)」, ロンドン, 1687 年, 初版。

RE-0604
ロバート・ボイル (1627-1691) (複製本)
「懐疑的化学者」, ロンドン, 1661 年, 初版。

RE-SP08
チャールズ・ダーウィン (1809-1882) (複製本)
「種の起源」, ロンドン, 1859 年, 初版。

2つの「知の連鎖」マップ (1F)

それぞれの時代の科学者、技術者たちは、常に先人の「叡智」に刺激を受け、新たな叡智を重ねることで「知の連鎖」を繰り返し、人類の営みを魅力的なものへと創造してきました。本展覧会では、そうした「知の連鎖」の関係を2つの視点でマップに表しご紹介します。

知の連鎖①：[13のカテゴリーマップ]
「知の森」では全体を13のカテゴリーにわけ、それぞれのカテゴリーのなかの「知の連鎖」に着目しご紹介します。

知の連鎖②：[系譜マップ]
もうひとつの視点は、時代やカテゴリー領域の枠を超えたサイエンティストたちによる四次元的な「知の連鎖」。それを「知の系譜」としてあらわしたマップでは、系統的、体系的にそれらをたどってみたいことができます。

2つの「知の連鎖マップ」をもとに「知の森の旅」をお楽しみください。

「知の繋がり」(2F)

THE CHAIN OF WISDOM

現代を生きる私たちは、膨大な情報量のなかで、新しい「知の繋がり」の方法を模索しています。書物との出会いによる人の脳内での「知の繋がり」の過程。「書物」を通して人と人が、情報を共有して、伝達する様子。過去から現代、さらには未来に向けての知の連鎖は、時空を越えて繋がる様子を空間インスタレーションとして紹介します。

主催： K.I.T. 金沢工業大学、上野の森美術館
監修： 金沢工業大学ライブラリーセンター顧問・教授 笠覚暁

会場構成・展示デザイン： 金沢工業大学建築学部 宮下智裕研究室
金沢工業大学准教授 宮下智裕
<知の壁> 山崎洗希 / 福山駿太 / 田々凌太郎 / 堀田幸恵 / 上染彩果 /
<知の森> 富永武典 / 高橋仙実 / 佐竹淳史 / 菅原悠生 / 三上公嗣 / 荒能義仁 / 名倉由莉 / 橋本祐希 / 前川萌香 /
<知の繋がり> 谷口千紘 / 松井勇介 / 鳥越三恵 / 伊藤涼太 / 熊倉侑希 / 越沢恵 /
(順不同、2018年9月現在)

アドバイザー： 立川直樹
アドバイザー： 橋本麻里
会場デザインスーパーバイザー： 鳥海譲 (パワーボム)
会場施工： ナカダ株式会社、株式会社アドヴァンス企画
照明デザイン+機材提供： 株式会社響映+ MGS
展示物輸送+稀観書展示： 日本通運株式会社金沢支店 + 新宿事業所
映像編集： 金沢工業大学 情報処理サービスセンター AV 室
宣伝AD： 高橋俊充 (高橋俊充デザイン室)
宣伝コピーライト： 湯澤和彦
書物撮影： 吉尾正洋
宣伝物印刷： 高桑美術印刷株式会社
制作： ハクシオン株式会社

【リーフレット制作】

監修： 金沢工業大学ライブラリーセンター顧問・教授 笠覚暁
編集： ハクシオン株式会社
AD+D： 高橋俊充 (高橋俊充デザイン室)
印刷： 高桑美術印刷株式会社
発行： 金沢工業大学